

## R6年度 住吉区地域包括支援センター運営協議会（報告）

認知症関連	見えてきた課題	R7年度 取り組むべき内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症に関する知識や理解が十分ではなく、認知症の方が地域や家族から孤立してしまう。</li> <li>・認知症を発症しても安心して暮らせる地域づくりなど、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けるための支援体制づくりが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、地域や家族、ケアマネジャー等の支援者、学生に向けて認知症の理解に関する講演会やイベント、勉強会を行うとともに、支援が必要な世帯の早期発見・早期対応に努める。</li> <li>・「本人支援」のために信頼関係構築及び権利擁護の視点を持ち相談員の支援力を向上する。</li> <li>・現役世代や若者等の地域住民が参加できるイベント、区役所窓口、広報誌等で認知症や権利擁護に関する啓発活動を行う。</li> </ul>
複合課題	見えてきた課題	R7年度 取り組むべき内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症や精神疾患等複合的な課題を抱える世帯への支援増加傾向</li> <li>・複合課題を抱える世帯において、意思決定に困難さがある場合、支援が困難となることが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議で情報共有・課題共有。役割分担の明確化。</li> <li>・介護支援専門員に対する研修の取組み。</li> <li>・ACPをキーワードに家族間で今後の生活について考える機会を持てるように支援</li> <li>・障がい者支援機関とのネットワークづくり</li> <li>・精神保健福祉分野の疾患、制度、ケースの関わり等について学ぶ機会を作る</li> <li>・区役所内での他部署との連携、状態変化に応じたスムーズな連携を行いやすくする。</li> </ul>
予防的支援構築	見えてきた課題	R7年度 取り組むべき内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のニーズに合った社会資源を作り、閉じこもり予防に努める必要があるが、場所の問題や担い手不足の問題がある。</li> <li>・精神疾患や何らかの障害がある子を支える世帯が孤立を深めないようにする関わりが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活体制整備事業やボランティア市民活動センター、施設、地域等と連携し、居場所の活性化を図る。</li> <li>・現役世代や若者等の地域住民が参加できるイベント、区役所窓口、広報誌等で認知症や権利擁護に関する啓発活動を行う。</li> </ul>
金銭管理	見えてきた課題	R7年度 取り組むべき内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あんしんサポート導入に時間がかかるなど、既存の制度での早期対応が困難。その間の特定支援機関に過大な負担がかかる</li> <li>・認知症等で判断能力が低下し、日常的に成年後見人やあんしんサポートにつながるまで時間がかかる。また、つながった後も日々の金銭管理について課題が残る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あんしんサポート事業拡充等の再検討を市域会議へ提出</li> <li>・早い段階から地域ケア会議等を活用し支援方針を確認し、連携を図る。</li> <li>・成年後見制度やあんしんサポートの利用促進に向けた地域住民や支援者への普及啓発活動を行う。</li> <li>・区役所窓口、広報誌等で成年後見制度に関する啓発活動を行う。</li> <li>・区役所内の他部署との連携を支援強化する。</li> </ul>